

と、従臣を諭し、引き返しの浜に上陸して方丈ゆかりのある大寧寺に入った。同寺の十三世異雪慶珠禪師の示された金剛經六諭の偈文(即心即仏)を聞き、浮世の迷いを解いて帰依せられ、義隆公瑞雲珠天の法名を受けられ、再起の望みを断ち、辞世の句を残して自刃された。時に天文二十年九月朔日己刻であった。

これより先に、禪師の講話中門前が急に騒がしくなったので、冷泉判官隆豊は一人出て見ると、大勢の敵が大門の前に押し寄せており、これを見た隆豊は、大弓と大矢を持って門外に出て、

「お前方は杉か内藤(陶の味方)か。」と問えば、

「杉・内藤の配下の若者なり。」と答えが返り、隆豊は、「只今、大守にはお腹を召さるなり。(切腹)良かれ悪しかれお前等の主君であるぞ。この場に当って狼藉は許さない。狼藉を働くなれば御自害を妨げるものなり。我の言葉を信じなければ、隆豊の弓力を知らしめてやるがどうか。」と迫ったところ、老齢の男が進み出て、

「冷泉殿の言われることは

もっともである。我等は恨み重なる逆徒の一味であるが、正に歴代の主君なり。大守の御自害は妨げない。安らかにお腹を召されたい。私が警固する。」

というので、

「その方の名は。」と問えば、

「刑罰に処せられた驚頭が一族である。早く早く。」とせかすので、隆豊は、「お頼み申す驚頭殿」と言い残してここを立ち去った。

義隆公は、仏前に向い香をたき、三拝して腹一文字に切られた。隆豊は御首を打ち落として障子を取り重ねて火を放った。寺は見る見るうちに

焰火猛煙と化した。もはや敵がお首を取ることはできないと見届けると、走り出て経堂へ上り、攻めくる敵と戦うことひと時、その間、武将の天野・黒川・岡部・大田等次々と討れた。隆豊は、これまでと悟り、経堂に入り、腹十文字に切り、臓腑をつかみ天井に投げつけ、喉を突き刺して討死した。

西国守護職七州の大守(大名)で、大陸貿易による文明文化の輸入と、京都文化と渾然一体とし、絢爛たる大内文化を山口に築き、日本史上にも数多くの足跡を残した大内氏も、かくして宗家は三十一代をもって断絶したのである。

中尾 清

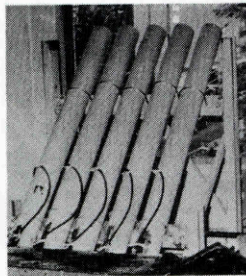
自衛官 2等陸・海・空士への案内

- 応募資格**
日本国籍を有し、採用予定月の1日現在18歳以上25歳未満の者
- 受付期間**
受付は年間通じて行っております。
- 試験科目**
○筆記試験・口述試験・身体検査
○適性検査
- 身分は特別職国家公務員です。**
- 給与**
初任給月額 107,400円、9か月～12か月たてば1等陸・海・空士に昇任し、116,900円、また、任期を満了した際にはその都度、特別退職手当が次のとおり支給されます。

区	分	支給額
2年任期	1任期	406,000円
	2任期	878,666円
	3任期	726,000円

- 詳しいことは**
町役場又は自衛隊山口地方連絡部
萩募集事務所 ☎08382 ②2409

過激派の 根絶に理解と ご協力を!!



この写真は、去る五月四日中核派が東京サミット会場「迎賓館」に向け発射した爆発物の発射装置です。最近、過激派の武器開発はますますエスカレートし、今では無差別殺人にもつながる非常に危険な武器を使用するようになりました。

- ※ 警察では、平穏な国民生活を守るために、全国の組織をあげてその取締りにあたっております。こうした警察の活動に皆さん方の温かい理解をお願いするとともに、皆さん方の周りに
- ※ 見かけない人の出入りが激しい借家、アパート(過激派のアジト)
- ※ 密閉した室内から工具を使う音がする不審な家。
- ※ (武器製造工場)
- ※ 爆発物のような不審な荷物を積んだ車等不審な事案がないか!!
- ※ 今一度見直していただくようご協力をお願いします。
- ※ 問い合わせ先
長門警察署 ☎〇八三七二(2)
一〇二一〇



うんどう会



高野敦子ちゃん(6歳)
野波瀬

小さな目大きな芽 ③